

病防第68号
平成25年8月6日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、平成25年度病害虫発生予察注意報第1号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

平成25年度病害虫発生予察注意報第1号

農作物名 水稲（早植え・普通期水稲）
病害虫名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 早植え・普通期水稲栽培地域
- 2 発生時期 8月上旬以降
- 3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 7月30日～8月1日に県内60地点で払い落とし調査を行った。6月上旬以前に移植された早植え水稲20地点の10株当たり成幼虫数は、7.1頭と過去5カ年の平均(1.5頭)に比べて多かった(表1、図1)。また、発生ほ場率は100.0%と、過去5カ年の平均(64.9%)に比べて高かった(図2)。
- (2) 6月中旬以降移植の普通期水稲40地点の10株当たり成幼虫数も、1.8頭と過去5カ年の平均(0.6頭)に比べて多かった(表1、図1)。また、発生ほ場率も55.0%と過去5カ年の平均(41.3%)に比べて高かった(図2)。
- (3) 中山間地の早植え水稲を中心に、要防除水準(9月収穫水稲:10頭/10株、10月収穫水稲:2頭/10株)を超える地点が確認された。
- (4) 早植え水稲の調査では、短翅成虫～老齢幼虫を主体に確認され、一方、普通期水稲では、幼虫～成虫まで確認された。このことから、早植え水稲では6月18日の飛来個体が、普通期水稲では6月25日の飛来個体が主体に定着したと考えられる。
- (5) 福岡管区气象台が8月2日に発表した九州北部地方の気象予報によると、向こう1ヶ月の平均気温は高く、併せて高温に関する異常天候早期警戒情報が出ており、トビイロウンカの増殖に好適な条件である。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 6月18日および6月25日の飛来波を対象とした各地域の予想される防除適期(幼虫ふ化揃い期)は、表2のとおりである。
- (2) トビイロウンカは増殖率が高いため、現在は低密度に見えても8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。ほ場ごとあるいは、ほ場内でも発生に偏りが認められるので、定期的に発生量及び発育ステージを確認する。
- (3) 要防除水準は、8月上旬が2頭/10株、8月中～下旬が10頭/10株、収穫30日前が30頭/10株である。要防除水準を超えた場合は、ただちに防除する。

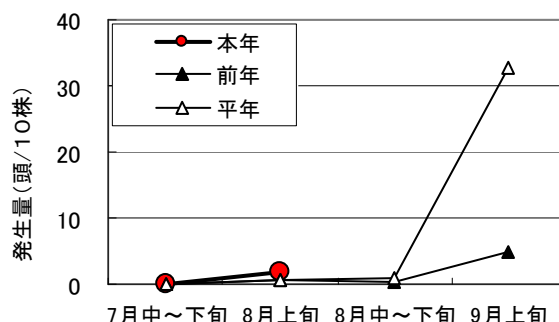
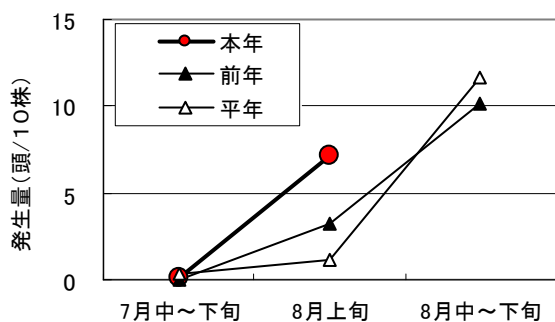
- (4) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生している。粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。
- (5) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やBPMC剤に対する感受性が低下している。
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

※なお、本文はホームページ「<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>」にも掲載しています。

表1 8月上旬におけるトビイロウンカの10株当たり寄生成幼虫数

年	2007	2008	2009	2010	2012	平均	2013
早植え	2.2	0.2	0.2	1.5	3.2	1.5	7.1
普通期	1.0	0.0	0.2	1.0	0.6	0.6	1.8

*：2011年は7月までに飛来が確認されなかったため調査未実施。



早植え水稻におけるトビイロウンカ発生の推移

普通期水稻におけるトビイロウンカ発生の推移

図1 トビイロウンカ10株当たり虫数の推移
平年：2003～2012年（8月上旬は2007～2012年の平均）

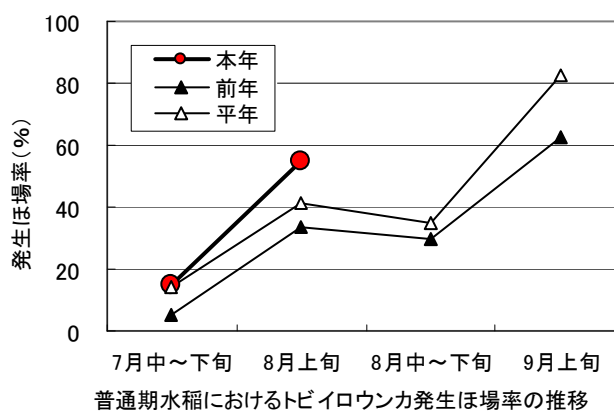
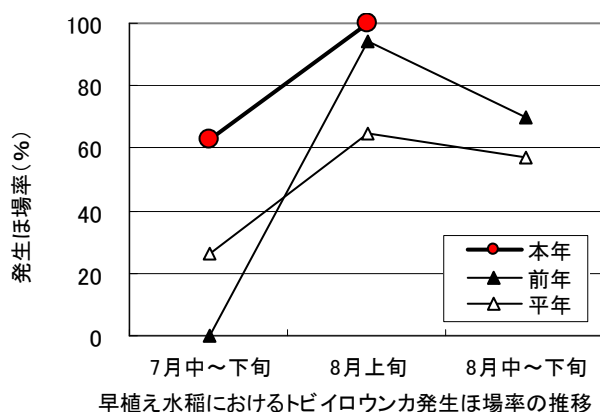


図2 トビイロウンカ発生ほ場率の推移
平年：2003～2012年（8月上旬は2007～2012年の平均）

表2 予想される飛来波別の防除適期

(8月2日現在)

時期	6月18日飛来	6月25日飛来
地点	防除適期 第2世代幼虫ふ化揃い期 ^{注)}	防除適期 第2世代幼虫ふ化揃い期 ^{注)}
三角	8月4～11日	8月10～17日
岱明	8月3～10日	8月9～16日
鹿北	8月8～15日	8月13～20日
菊池	8月5～12日	8月11～18日
阿蘇 乙姫	8月16～23日	8月21～28日
甲佐	8月5～12日	8月11～18日
八代	8月3～10日	8月9～16日
水俣	8月4～11日	8月11～18日
人吉	8月7～14日	8月13～20日
本渡	8月5～12日	8月10～17日

注) ・6月18日および6月25日の飛来を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(8月1日までは今年のデータ、8月2日以降は平年値)を基に、有効積算温度で今後の発育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所

(生産環境研究所)

TEL 096-248-6490

山口・古家

TEL: 096-248-6490